

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第2部門第4区分
【発行日】平成16年11月4日(2004.11.4)

【公開番号】特開2001-277648(P2001-277648A)
【公開日】平成13年10月9日(2001.10.9)
【出願番号】特願2000-100765(P2000-100765)
【国際特許分類第7版】
B 4 1 J 29/00
【F I】
B 4 1 J 29/00 D

【手続補正書】
【提出日】平成15年11月7日(2003.11.7)
【手続補正1】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項1】

ヘッドケーブルが接続された記録ヘッドを搭載する記録装置のキャリッジにおいて、
前記ヘッドケーブルのうち前記キャリッジから外側に延在する延在部分に接触可能に配置され当該ヘッドケーブルを保持する保持部材を備え、当該保持部材は、可撓性または弾性を有する材質から形成されていることを特徴とする記録装置のキャリッジ。

【請求項2】
上記可撓性を有する保持部材は、薄板状の保持片であることを特徴とする請求項1に記載の記録装置のキャリッジ。

【請求項3】
上記弾性を有する保持部材は、ばね体であることを特徴とする請求項1に記載の記録装置のキャリッジ。

【請求項4】
プラテンに沿って走行するキャリッジに、多数の記録ワイヤを備えた記録ヘッドが搭載され、上記記録ヘッドには、上記キャリッジに保持されたヘッドケーブルが接続され、上記記録ワイヤを突出動作させることにより、上記プラテンと上記記録ヘッドとの間に搬送されるシートに画像を記録する記録装置において、
上記キャリッジには、前記ヘッドケーブルのうち前記キャリッジから外側に延在する延在部分に接触可能に配置され当該ヘッドケーブルを保持する保持部材が設けられ、当該保持部材は、可撓性または弾性を有する材質から形成されていることを特徴とする記録装置。

【請求項5】
上記可撓性を有する保持部材は、薄板上の保持片であることを特徴とする請求項4に記載の記録装置。

【請求項6】
上記弾性を有する保持部材は、ばね体であることを特徴とする請求項6に記載の記録装置。

【手続補正2】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0006
【補正方法】変更
【補正の内容】

【０００６】

【課題を解決するための手段】

請求項１に記載の発明は、ヘッドケーブルが接続された記録ヘッドを搭載する記録装置のキャリッジにおいて、前記ヘッドケーブルのうち前記キャリッジから外側に延在する延在部分に接触可能に配置され、当該ヘッドケーブルを保持する保持部材を備え、当該保持部材は、可撓性または弾性を有する材質から形成されていることを特徴とするものである。

【手続補正３】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００７

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００７】

請求項２に記載の発明は、請求項１に記載の発明において、上記可撓性を有する保持部材は、薄板状の保持片であることを特徴とするものである。

【手続補正４】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００８

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００８】

請求項３に記載の発明は、請求項１に記載の発明において、上記弾性を有する保持部材は、ばね体であることを特徴とするものである。

【手続補正５】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００９

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００９】

請求項４に記載の発明は、プラテンに沿って走行するキャリッジに、多数の記録ワイヤを備えた記録ヘッドが搭載され、上記記録ヘッドには、上記キャリッジに保持されたヘッドケーブルが接続され、上記記録ワイヤを突出動作させることにより、上記プラテンと上記記録ヘッドとの間に搬送されるシートに画像を記録する記録装置において、上記キャリッジには、前記ヘッドケーブルのうち前記キャリッジから外側に延在する延在部分に接触可能に配置され当該ヘッドケーブルを保持する保持部材が設けられ、当該保持部材は、可撓性または弾性を有する材質から形成されていることを特徴とするものである。

【手続補正６】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１０

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１０】

請求項５に記載の発明は、請求項４に記載の発明において、上記可撓性を有する保持部材は、薄板上の保持片であることを特徴とするものである。

【手続補正７】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１１

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１１】

請求項６に記載の発明は、請求項４に記載の発明において、上記弾性を有する保持部材は

、ばね体であることを特徴とするものである。